

【日本現代史シリーズ 11】

戦後初期コア・カリキュラム 研究資料集

第5回配本 諸団体編 補遺 全4巻

- 編集・解題 金馬国晴(横浜国立大学教授) / 安井一郎(獨協大学教授) / 溝邊和成(兵庫教育大学教授)
- 体裁: B5判・上製 約2,400頁 ISBN978-4-910672-10-6 C3337
- 定価: 本体124,000円+税

第1回〜第5回全17巻
完結!!



クロスカルチャー出版

【日本現代史シリーズ 11】 戦後教育史研究の必携資料 戦後初期コア・カリキュラム 研究資料集

第5回配本 諸団体編 補遺 全4巻

- 編集・解題 金馬国晴(横浜国立大学教授) / 安井一郎(獨協大学教授) / 溝邊和成(兵庫教育大学教授)
- 体裁 B5判・上製 約2,400頁 ISBN978-4-910672-10-6 C3337
- 定価 本体124,000円+税
- 巻構成
 - 第14巻 諸団体 東日本
 - 第15巻 諸団体 西日本
 - 第16巻 補遺 一般校
 - 第17巻 補遺 付属校
- おすすめ先: 教育学、教育史、教育課程、教育社会学、教育行政学の研究者等。大学図書館、公共図書館。

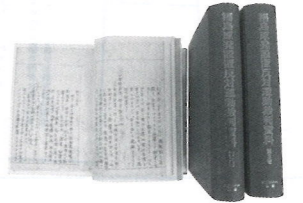
好評既刊【日本現代史シリーズ】

【日本現代史シリーズ1】

福島原発設置反対運動裁判資料 第1回配本 全3巻

- 編集・解説 安田純治(弁護士) / 解題 澤 正宏(福島大学名誉教授)
- 体裁 B5判・上製・総約2,400頁 ●定価 本体150,000円+税 ISBN978-4-905388-44-9 C3332

『東京電力株式会社の公有水面埋立免許申請に係る福島県知事の免許についての審査請求書』、『公有水面埋立免許取消請求事件 訴状』『福島第2原子力発電所原子炉設置許可取消請求事件 最終準備書面』、福島地方裁判所判決他収録。

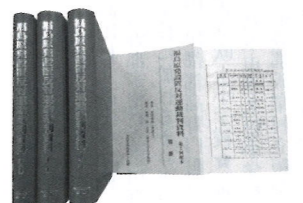


【日本現代史シリーズ2】

福島原発設置反対運動裁判資料 第2回配本 全4巻・別冊

- 解説 安田純治(弁護士) / 編集・解題・解説 澤 正宏(福島大学名誉教授)
- 体裁 B5判・上製・総約1,700頁 ●定価 本体88,000円+税 ISBN978-4-905388-53-1 C3332

原告、下請労働者に関する基礎調査、訴訟資料、被告、原子力委員会、東京電力、福島県などの資料他収録。

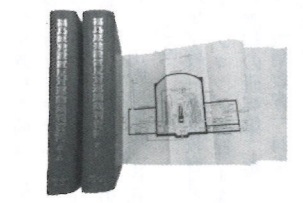


【日本現代史シリーズ3】

伊方原発設置反対運動裁判資料 第1回配本 全4巻・別冊

- 解説 藤田一良(弁護士) / 編集・解題・解説 澤 正宏(福島大学名誉教授)
- 体裁 B5判・上製・総約3,500頁 ●定価 本体160,000円+税 ISBN978-4-905388-58-6 C3332

■伊方原発行政訴訟【資料1】【資料2】【資料3】、伊方発電所原子炉設置許可処分取消請求事件 準備書面、伊方原子力発電所裁判証言記録、伊方発電所原子炉設置許可処分取消請求事件判決他収録。



【日本現代史シリーズ4】

伊方原発設置反対運動裁判資料 第2回配本 全3巻・別冊

- 編集・解題・解説 澤 正宏(福島大学名誉教授)
- 体裁 B5判・上製・総約1,700頁 ●定価 本体90,000円+税 ISBN978-4-905388-58-6-1 C3332

■上告理由書、上告理由補充書(三)「加圧水型原発の終焉」、準備書面―スリーマイル島原子力発電所の事故は人類破滅への道を指し示す、最高裁、高松高裁判決部分、別冊に詳細な伊方原発関連年表を収録。



クロスカルチャー出版

学術出版

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2-7-6

TEL: 03-5577-6707 FAX: 03-5577-6708

http://crosscul.com

取扱書店

【日本現代史シリーズ5】戦後教育改革の空白を埋める貴重な資料！

教育刷新委員会総会配布資料集 全3巻

●**解題** 高橋寛人 (横浜市立大学教授)

●**定価** 本体 90,000 円 + 税

●**体裁** B5 判・上製・約 1,700 頁

ISBN978-4-908823-05-3 C3337

戦後教育改革を研究するには、教育刷新委員会の検討が不可欠である。教育刷新委員会での審議録は、『教育刷新委員会・教育刷新審議会 会議録』全 13 巻 (岩波書店) として刊行されているが、会議での配布資料は収録されていない！

本書『教育刷新委員会総会配布資料集』では、教育刷新委員会の第 1 回～第 80 回総会 (1946 年 9 月 7 日～1948 年 10 月 15 日) に配布された資料を収録。

【日本現代史シリーズ6】

教育刷新審議会配布資料集 全4巻

●**解題** 井深雄二 (大阪体育大学教授・奈良教育大学名誉教授)

●**定価** 本体 120,000 円 + 税

●**体裁** B5 判・上製 約 2,000 頁

ISBN978-4-908823-27-5 C3337

『教育刷新委員会総会配布資料集』(全 3 巻 2016 年 6 月刊) に続き、本書『教育刷新審議会配布資料集』で教育刷新委員会・教育刷新審議会関係の現存する資料をほとんど全部復刻。

昭和 24 年 6 月～昭和 27 年 6 月までの簿冊「教育刷新審議会配布資料等」全 5 冊と付録の簿冊「教育刷新審議会」1 冊を収録。戦後教育改革の理念の生成を知る上での第一級資料が完結。

岩波版『教育刷新委員会・教育刷新審議会会議録』(全 13 巻) を補完する教育史研究者必携資料。

【日本現代史シリーズ7】戦後教育史研究の必携資料

戦後初期コア・カリキュラム研究資料集

第 1 回配本 東日本編 全 3 巻

●**編集・解題** 金馬国晴 (横浜国立大学教授) / 安井一郎 (獨協大学教授)

●**定価** 本体 90,000 円 + 税

●**体裁** B5 判・上製 約 1,900 頁

ISBN978-4-908823-38-1 C3337

●**巻構成** 第 1 巻 解題、資料リスト、北海道・東北・北関東 第 2 巻 東京・南関東 第 3 巻 北陸・甲信越・東海

先駆的な試みのコア・カリキュラム。多彩な計画、独創的な図表など当時の教師たちの熱意や希望が冊子に結実!!

【日本現代史シリーズ8】戦後教育史研究の必携資料

戦後初期コア・カリキュラム研究資料集

第 2 回配本 西日本編 全 3 巻

●**編集・解題** 金馬国晴 (横浜国立大学教授) / 安井一郎 (獨協大学教授)

●**定価** 本体 90,000 円 + 税

●**体裁** B5 判・上製 約 1,900 頁

ISBN978-4-908823-60-2 C3337

●**巻構成** 第 4 巻 解題、資料リスト、近畿 1 (滋賀・京都・大阪・奈良・和歌山) 第 5 巻 近畿 2 (兵庫) 第 6 巻 中国・四国・九州

【日本現代史シリーズ9】戦後教育史研究の必携資料

戦後初期コア・カリキュラム研究資料集

第 3 回配本 附属校編 全 3 巻

●**編集・解題** 金馬国晴 (横浜国立大学教授) 安井一郎 (獨協大学教授) 溝邊和成 (兵庫教育大学教授)

●**定価** 本体 90,000 円 + 税

●**体裁** B5 判・上製 約 2,000 頁

ISBN978-4-908823-68-8 C3337

●**巻構成** 第 7 巻 附属校編 東日本 (北海道・東北・関東・中部)

第 8 巻 附属校編 西日本 1 (近畿 1 (京都・兵庫)) 第 9 巻 附属校編 西日本 2 (近畿 2・中国・四国・九州)

【日本現代史シリーズ10】戦後教育史研究の必携資料

戦後初期コア・カリキュラム研究資料集

第 4 回配本 中学校編・附属校編 全 4 巻

●**編集・解題** 金馬国晴 (横浜国立大学教授) 安井一郎 (獨協大学教授) 溝邊和成 (兵庫教育大学教授)

●**定価** 本体 120,000 円 + 税

●**体裁** B5 判・上製 約 2,200 頁

ISBN978-4-908823-91-6 C3337

●**巻構成** 第 10 巻 附属校編補遺、境界編 第 11 巻 中学校編 東日本編 1

第 12 巻 中学校編 東日本編 2 第 13 巻 中学校編 西日本編

刊行にあたって

金馬国晴（横浜国立大学教授）

コア・カリキュラムは、日本の教育史に必ず登場する理論であり、実践・運動です。とはいえ、先行研究や解説書におけるその評価は高くなく、児童中心主義、「はいまわる経験主義」、学力低下の元凶といった批判がくり返されてきました。

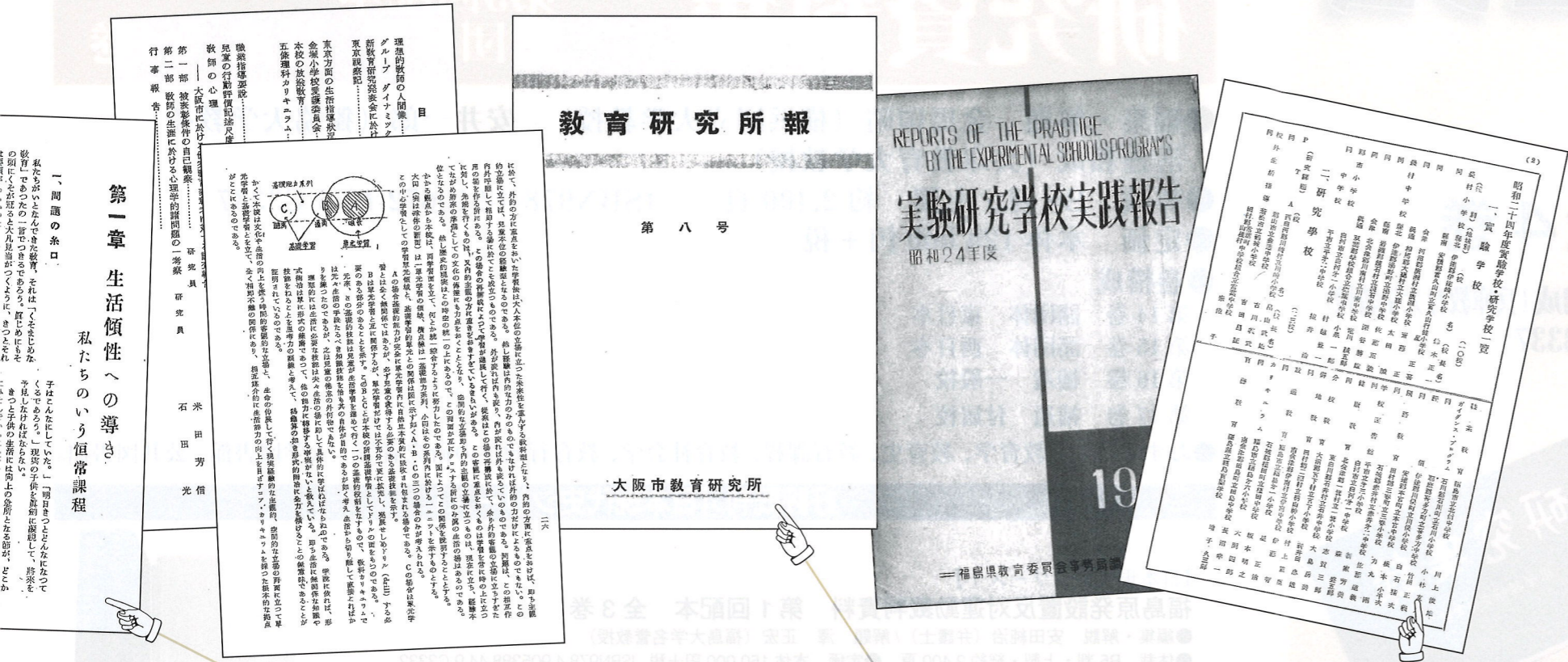
ですがその実態を本資料集から見直したとき、異なる視野が開けてくることでしょう。まず、当時の教師たちの模索とその成果が、生き生きとした文や独創的な図表、そしてガリ切りや印刷所らしい字体から見て取れます。ときに最大1000頁近い冊子は、戦後初期の混乱期における模索が、戦後教育に対して未分化とでもいえるべき豊かさをもっていたことを伝えます。時代の制約も超えて、私たちに訴えてくる熱気や希望を感じます。

また、よく知られた上記の批判がどの学校にどう当てはまるか、また実は当てはまらない学校も存在したことが見えてきます。実践研究には、実際のカリキュラムをもとにした建設性が求められます。それは、もう半世紀以上前のこのカリキュラムが、近年と今後の教育に対して、多大な示唆をもっていること、教育改革を論じる上でふまえるべき先例であるからでもあるのです。

本書はそうした思いから、これまで採録しこなかった諸団体による刊行物を扱います。併せて、コロナ禍により連絡し損ねていた公立図書館ほかにある学校資料の検索・収集も徹底的に行いました。それらを2巻ごと、全4巻に編んで皆様にお届けします。

内容見本

先駆的な試みのコア・カリキュラム。第5弾、諸団体編と補遺。全国各地の教育委員会、教育研究所などが刊行した報告書、紀要・所報や雑誌から、コア・カリキュラムやカリキュラム基準に関わるものを徹底的に探索し採録。そして2巻にわたる充実した補遺・



特色

1 戦後新教育期の教育委員会・教育庁、自治体の教育研究所、組合などの報告書、紀要・所報、雑誌他から、コア・カリキュラムや三層四領域に関する報告文や論文を抜粋。

2 補遺（一般校、附属校）では、これまで以上の大発見といえる冊子類から、稀少な図表、記述を豊富に採録。

3 カリキュラム・マネジメント、横断的カリキュラム、総合的な学習・総合的な探究の時間、主体的・対話的で深い学び、および社会に開かれた教育課程などにも示唆有り。

収録内容一覧

解題 本資料集の全体構成、および諸団体と補遺の位置づけ
コア・カリキュラム研究資料集 諸団体編、補遺 資料一覧

第14巻 諸団体編 東日本

- 文部省「文部省 実験学校発表会要項」24年
- 社会科教育研究所「社会科 教材構成と学習指導の実際」23年
- 北海道立教育研究所「研究報告 昭和24年度 研究協力学校」25年
- 福島県教育委員会事務局調査課分室「昭和24年度 実験学校研究実践報告」25年
- 茨城県教育委員会指導課「茨城県実験学校報告 第一集 昭和25年度」25年
- 茨城県教育庁指導課「実験学校研究紀要（第三集）昭和27年度」28年
- 千葉県教育委員会指導課「昭和24年度 研究学校報告 上巻」25年
- 千葉県教育庁指導課「研究学校報告第二集 研究の成果（昭和25年度）」26年
- 千葉県教育研究所「千葉教育第2号」23年
- 千葉県教育第4号「24年
- 千葉県教育第9号「カリキュラムの諸問題」24年
- 千葉県教育第18号「25年
- 新潟県教育庁指導課「研究集録 小学校研究指定校」26年
- 信濃教育会「教育研究所紀要 第1集」22年
- 富山県教育研究所「富山県に於けるカリキュラムの研究動向」25年
- 山梨県立教育研究所「研究紀要第一集 カリキュラム構成の基礎研究」24年
- 山梨県基準能力表「研究紀要第12集」27年
- 山梨県教育委員会「昭和26年度 実験学校実践報告書（第二集）小学校の部」26年
- 恵那教育研究所「所報5」24年
- 四日市市立教育研究所「研究紀要第一集 四日市教育計画の構想」24年

第15巻 諸団体編 西日本

- 大阪市教育研究所「大阪市教育研究所報 第四号 新教育講座特輯」24年
- 大阪市教育研究所報 第五号「新教育講座特輯」24年
- 大阪市教育研究所報 第六号「24年
- 大阪市教育研究所報 第八号「25年
- 大阪市教育研究所報 第九号「生活学習単元展開の実際」25年
- 大阪市教育研究所報 第十三号「27年
- 近畿新教育実験学校協会「実験学校第1集」24年
- 「実験学校第3集 特集単元の展開」25年
- 兵庫県立教育研究所「昭和二十三・二十四年度 学校学級経営実験学校報告書」25年
- 福岡県立教育研究所「新教育研究大会論文集」25年
- 久留米教育計画構成委員会「全久留米市内小学校、福岡学芸大学附属久留米小学校「生活学習展開の手引き」24年
- 「分化生活学習展開の手引」25年

第16巻 補遺 一般校

★は校内資料

- 東日本
 - 北海道 亀田郡亀田村立亀田小学校 桐花中学校「研究紀要第一集私たちの教育課程 昭和二十四年度試案」24年
 - 亀田郡亀田村立桐花中学校「研究紀要第四集私たちの教育課程・第二次改訂版（上巻）」26年
 - 「研究紀要第四集 私たちの教育課程 第二次改訂版（下巻）」26年
 - 岩手 気仙郡高田町立高田小学校「1950年度調査 資料編 カリキュラム研究、第三集」25年
 - 秋田 由利郡西滝沢村立西滝沢小学校「第一輯 わが校のあゆみ カリキュラムの基礎編」26年
 - 福島 郡山市立金透小学校「五日制と校外指導 グループ生活指導」
 - 群馬 佐波郡宮郷村立宮郷中学校「農村に於ける中学校のカリキュラム構成 昭和二十四年度試案」24年
 - 千葉 館山市立北条小学校★「昭和二十四年度四月 日課予定表」24年
 - 石川 金沢市立弥生小学校「研究紀要（一）弥生教育課程」25年
 - 福井 武生市立武生東小学校★「福井県武生東小学校参観紀行」
 - 静岡 庵原郡庵原村立庵原中学校「昭和二十四年度 生活学習指導計画案」24年
- 西日本
 - 滋賀 愛知郡那桐村立那桐小学校「恒常課程の研究 稲村教育第二集」25年
 - 京都 竹野郡島津村立島津小学校「カリキュラム1949年」24年
 - 兵庫 加東郡中東条村立中東条小学校★「われわれの教育計画はどんなであらうか―研究討議の資料として―」27年
 - 赤穂郡高田村立高田中学校「本校教育の理論と実際 第三輯」25年
 - 奈良 吉野郡宗檜村立宗檜小学校、宗川野中学校「複式学校に於ける生活カリキュラムの構成とその指導法 附・中学校に於けるカリキュラム」25年
 - 大原郡海潮村立北村小学校「北村の教育 第一集」
 - 岡山 後月郡井原町立井原小学校「新教育研究第四輯 実験学校 井原教育計画」24年
 - 広島 福山市立城北中学校「本校のカリキュラム」25年

推薦します



「今日」の学校主体によるカリキュラム開発にも大いに示唆を与える

二、生活指導のあるみ

教育のほかに、それは人間の形成である。そしてこれは今も将来も、子供が子供として、生きていくために必要とする人間性の開発なのである。生きていくために必要とする人間性の開発なのである。生きていくために必要とする人間性の開発なのである。生きていくために必要とする人間性の開発なのである。

今日の学校主体によるカリキュラム開発にも大いに示唆を与える

お茶の水女子大学教授 富士原紀絵

全17巻が完結した。足かけ5年という長期にわたるものだったが、出版に向けた2000年代初期の構想時点をうかがっていた者からすれば、壮大なプロジェクトが成し遂げられた感がある。全国各地の学校や公共図書館、教育委員会、教育研究所等に散逸していた資料の収集活動に苦労されたことは想像に難くない。昨今では小・中学校の統廃合も進んでおり、校舎の改廃にともない資料の散逸が危惧される状況にある。失われる可能性もあった貴重な資料を救出したこと自体、意義を有している。

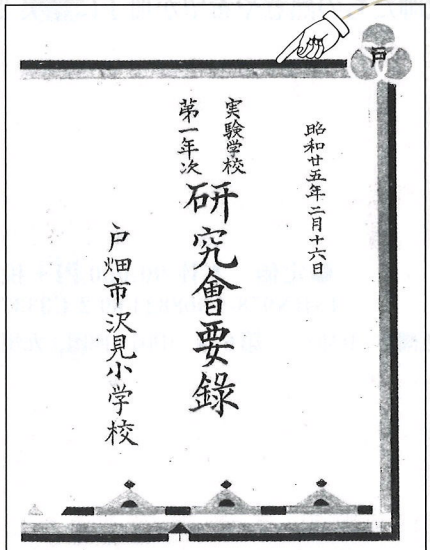
コア・カリキュラムは戦後の一時期に興隆し、明確な終焉を迎えたことから、戦後日本の教育の民主化が教育課程上で実現した「徒花」のように見られがちである。その上、研究的には特定の学校のコア・カリキュラムのみを検討することをもって、全国のコア・カリキュラムの全貌として把握されてきたことは否めない。さらにはコア・カリキュラム運動の現象としての史的評価は定着しているかのようで、今日では残念ながら、研究対象として盛んにとり上げられる状況にはない。

しかし、本資料に掲載された個別の学校をよく見ると、具体的要素の中にも、学校のおかれた地域による違いや、恐らくは取り組んだ教師の教育観による違いが、たとえ微細であったとしても、編者が「境界例」と解釈するものさえ存在していることがよく分かる。コア・カリキュラムは「計画(表)」として静態として把握され、それがともすれば批判の対象ともなってきたが、本資料集に掲載された学校単位の、しかも同一校の年度毎の差異を見出すほど、それが動態であったことが浮き彫りになるのではないだろうか。今後、本資料集全体のコア・カリキュラムを緻密に分析することで、日本の教育課程史における動態としてのカリキュラム構成の経験を新たに定義することが期待される。それは今日の学校主体によるカリキュラム開発にも大いに示唆を与えることになるだろう。

- 山口 山口市立白石小学校「白石教育 I 教育課程」27年
- 熊本 鮎託郡龍田 供合・広畑3ヶ村組合立鮎託東部中学校「教育計画の構想と展開(東中第二プラン)」25年
- 第17巻 補遺 附属校
- 補遺(4) 附属校2(第10巻の続き)
- 東日本
- 青森 弘前大学野辺地分校附属中学校「我が校のカリキュラムの実際 第1次試案」26年
- 富山 富山師範学校女子部附属堀川小学校「堀川の教育計画 構成編」24年
- 静岡 静岡大学教育学部附属浜松小学校「生活カリキュラム―新しい学習指導の実践計画―(第五学年用)」26年
- 西日本
- 大阪 大阪第二師範学校附属中学校「研究叢書第二集 中学校新教育の実際」24年
- 大阪 大阪大学附属池田中学校「研究叢書第4集 わが校の改訂カリキュラム―生活学習の反省と計画―1951」26年
- 島根 島根師範学校男子部附属小学校「単元学習とコア・カリキュラム」23年
- 島根 島根大学島根師範学校附属小学校「生活教育と単元学習」24年
- 山口 山口大学教育学部附属山口小学校「学校経営要覧」28年
- 山口 山口大学教育学部附属光中学校「生活実践と実力養成のための小中学校のカリキュラム 第一巻基礎編[改訂版]」25年
- 香川 香川大学香川師範学校附属坂出中学校「研究提要 統合教科課程試案 コアコース篇」24年
- 愛媛 愛媛大学愛媛師範学校附属中学校「昭和二十四年度 教育課程」24年
- 大分 大分大学芸学部大分師範学校附属中学校「教育計画 研究紀要第二集 教育課程」25年

- 補遺(5) 境界編(第10巻の続き)
- 愛知 愛知学芸大学附属岡崎中学校「今日における生活教育」29年
- 三重 員弁郡石榑村立石榑小学校「真実の教育を求めて教育課程構成の小さな歩み」25年
- 京都 舞鶴市立倉梯小学校「教育計画の概要1950」25年
- 島根 奈良女子高等師範学校附属中学校教育研究会「中学標準教育課程」25年
- 島根 島根県立教育研究所「中学校の教育課程―出雲市立第三中学校における試案―」26年
- 福岡 戸畑市立沢見小学校「実験学校第一年度 研究会要録」25年

コア・カリキュラム資料総リスト



【コア・カリキュラム】
カリキュラムにコア(中心、中核)を設け、そこで生活活動を広げ深めることを目的とする中心課程に、その手段(道具、用具)として必要となった教科の技能、態度、知識を教える周辺課程他を、有機的に関連させた総合的なカリキュラム。これは戦後初期、1948年～1950年代前半にかけて、全国各地の学校と教師のうちに、カリキュラム・ブームを巻き起こす契機となったものである。—金馬国晴「コア・カリキュラム」(日本教育方法学会『現代教育方法事典』2004年、ぎょうせい)